

(5) 鑄型内面に波形を附する問題は、鋼塊が主で鑄型が従であるから現行のまゝとする。

(6) ガス成分の影響は、色々発表はあつたが、問題が難しいので、更に長期の研究を要する。

(7) 鑄型肉厚の問題は、實地試験の結果を待つ爲次回に譲る。

ロール研究会

ロール研究会は翌日若松の日立製作所で行はれ、出席者 102 名の盛會で

(1) 商工省當局より木炭鉄の現状を聞き、ロールに対する配合率は前回の研究会のものを承認した。

(2) 硬度測定標準化

日立若松、扶桑、日鐵等から意見の開陳があり、結局硬度計としてはショーアに決つたが、猶その測定器、標準片については更に研究を続ける。

(3) チルの深さ

標準寫眞を関係者に配布し、判定法を統一することゝす。

(4) 名種用途に適したロールの成分決定については、日本のものは谷口委員長、米國のものは宮下委員の委しい説明があつた。

(5) ガス成分の影響

日立若松で N_2 , H_2 についての研究表があつた。

(6) ロールの使用状況及廢却

數工場より説明があつた。

猶會議途中でロールの出湯に立會ひ、工場を見學した。又翌日は有志のみ八幡製鐵所中原のロール工場を見學した。

之を要するに過去一ケ年間、前後 7 回に亘る研究會議の結果、鑄型及びロールの製造者及使用者が一堂に會し腹藏なき意見を交換すると共に、實地見學と研究を行ひ之により今日迄に於ても既に相當の所得のあつたことは關係者一同が認めた所である。

附記：これ以後の研究会の状況は引き續いて報告する豫定である。 (昭和 25 年 5 月寄稿)

鑄物部會鑄型ロール研究会開催一覽表

準備會

鑄型研究会 昭和 23 年 8 月 17 日 午前 10 時—午後 4 時

日本鋼管 川崎製鐵所 第 1 會議室 出席者 34 名

ロール研究会 同 上 18 日 午前 10 時—12 時

東京都中央区日本橋室町 1 の 4 三都和會館。出席者 30 名

第 1 回本會議

鑄型研究会 昭和 23 年 10 月 28 日 午前 10 時—午後 6 時

久保田鐵工所尼ヶ崎工場會議室 出席者 113 名

ロール研究会 同 上 29 日 午前 10 時—午後 5 時

大谷興業尼ヶ崎工場會議室 出席者 120 名

本炭洗に関する研究会

鑄型研究会 } 合同
ロール研究会 }

昭和 24 年 4 月 8 日、午前 9 時—午後 4 時

東京都 日本橋會館 出席者 25 名

第 2 回本會議

鑄型研究会 昭和 25 年 5 月 9 日 午前 9 時 30 分—午後 5 時 30 分

日鐵、八幡技研講堂 出席者 89 名

ロール研究会 同 上 10 日 午前 10 時—午後 4 時

日立製作所、若松工場講堂 出席者 102 名